

PRECISION IN EVERY DETAIL

OLCQQ-03

ジェット抽出装置

バッチ試料前処理のための自動液液抽出。

**3**

同時抽出試料数

> 95%

原資料記載の抽出効率

1-999 s

時間調整可能

専門分析装置から、実験室全体のソリューションへ。

製品カタログ・V0.0.7

01

PRODUCT ADVANTAGES

ワンタッチ抽出、明確な構成。

製品紹介

原資料が引用する HJ637-2018 に対応するため、飛翔賽思が開発・製造した液液自動抽出装置です。地表水、地下水、水道水、工業排水、生活排水から、石油系炭化水素、揮発性フェノール、陰イオン界面活性剤を抽出します。

01

バッチ処理

原資料では、2分間で3試料を抽出し、高い抽出効率を有すると記載されています。

02

繰り返し性

機械動作により抽出の繰り返し性を確保します。

03

自動化

ワンタッチで抽出し、時間と切替頻度を調整できます。

04

直接接触の低減

実験担当者が有害試薬に直接触れる機会を減らします。

05

耐食材料

抽出系は強化ガラスと、耐食性があり油が付着しにくい PTFE 材料を使用しています。

06

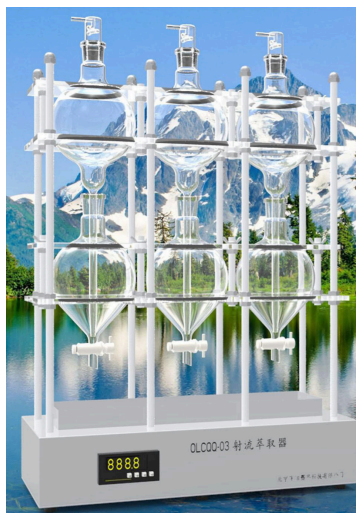
扱いやすい操作

清掃が容易で、設置も簡単です。

02

EXTRACTION PRINCIPLE

ジェット循環で、2相の接触を促進。



原カタログの装置・ガラス部品構造図

吸引工程

所定量の水試料とテトラクロロエチレンを、ジェット瓶の開口部から貯液部に加えます。真空ポンプが両相を細い尾管からジェット瓶へ吸引します。密度の高いテトラクロロエチレンが下部に沈み、試料がそこを通過する際に一部が抽出されます。

戻り工程

真空ポンプが停止すると、両相は細い尾管を通して戻り、下部出口でガラス壁に衝突します。接触面積を増やし、十分な抽出を促進します。

03

SPECIFICATIONS & APPLICATIONS

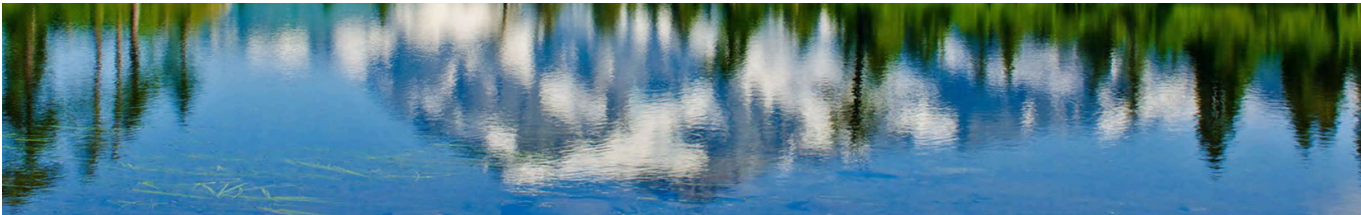
用途と調整可能なパラメーター。

- 環境モニタリング
- 石油化学
- 水道水
- 排水処理
- 大学研究
- 汚染発生源となる事業所
- 第三者検査

項目	仕様
対象用途	水中の石油系炭化水素、陰イオン界面活性剤、揮発性フェノールおよび関連物質
抽出効率	> 95%
抽出の繰り返し性	< 5%
試料量範囲	0-1000 ml
抽出時間	1-999 s、調整可能
抽出切替間隔	1-999 s、調整可能
同時処理試料数	3試料

原資料が引用する規格

HJ637-2018：水質—石油系炭化水素および動植物油の測定—赤外分光光度法。



原カタログの環境イメージ図